



平成 20 年 12 月 25 日

第 11 回日本成人先天性心疾患研究会

市民公開講座「心臓に障害をもったこどもがおとなになった時」

ご案内

第 11 回日本成人先天性心疾患研究会が平成 21 年 1 月 10, 11 日に岡山コンベンションセンターで開催される。さらに 11 日午後 3 時からは、同会場で市民公開講座「心臓に障害をもったこどもがおとなになった時」が全国心臓病の子どもを守る会岡山県支部の後援で予定されている。

先天性心臓病の手術が可能となったのは 30 年ほど前で、その頃に治療されたこどもが現在大人になりさまざまな問題に直面している。このような患者はいろいろなハンディキャップを持っているが、外見上健常者とは何の差もなく、その問題が認知されにくい状況にある。

医師の立場から千葉県循環器病センターの丹羽公一郎さんと岡山大学心臓血管外科の佐野俊二さんが講演。また患者さんの代表として春名憲二さん、谷本直美さんからメッセージを伝えていただく。

第 11 回日本成人先天性心疾患研究会が岡山大学病院循環器疾患治療部 赤木禎治准教授の会長のもと、平成 21 年 1 月 10, 11 日に岡山コンベンションセンターで開催されます。

この研究会は生まれつきの心臓病（先天性心疾患）をもったこどもたちが成長し、大人になったときからだ（心臓）の問題、就職や結婚、女性の場合は妊娠・出産の問題、そしてこのような患者さん方を引き続き診療していく医療体制の問題などについて考えていく研究会です。医師だけではなく、看護師、検査技師、そして患者さんの参加もできるユニークな研究会です。これまでは東京で開催されてきましたが、今年は岡山で開催されることになりました。全国より 200 名を越す参加者があり、さらに本年は韓国・台湾・中国からの参加も 20 名 近く予定されています。

研究会では、先天性心疾患手術後の長期予後について、ドイツのシュライバー教授の特別講演、心臓の小さな穴（卵円孔）が原因で発生する脳梗塞の新しいカテーテル治療について、イタリアのオノラト教授の特別講演が行われます。



PRESS RELEASE

また研究会に引き続き、11日の午後3時から5時までは、同会場で市民公開講座「心臓に障害をもった子どもがおとなになった時」が全国心臓病の子どもを守る会岡山県支部の後援で予定されています。先天性心疾患は多くの場合、生まれてすぐに症状が出現し、子どものうちに手術が必要となることが多いです。手術後の経過は順調な場合もありますが、いろいろな合併症を残している場合も少なくありません。先天性心臓病の手術が可能となったのは今から30年ほど前であり、その頃に治療された子どもが、いま大人になってさまざまな問題に直面しています。このような患者さんはいろいろなハンディキャップを持っているのですが、外見上健常者とは何の差もないため、その問題が認知されにくい状況にあります。

大人になった先天性心疾患の患者さんは小児科に行けばいいのか、循環器内科にいけばいいのか、中途半端な状況におかれています。これは診療にあたる側も同様で、先天性の病気に詳しい小児科医と、大人になったときの問題に詳しい循環器内科医、そして手術を担当してきた心臓外科医、それぞれの医師にとって今まで経験したことのない領域なのです。

岡山県には、これまでも活発に社会活動をおこなわれてきた「心臓病の子どもを守る会」があります。今回は患者さん方の力も借りて、患者さんが不安に思われていること、仲間に伝えたいことを話し合う場をもうけ、お互いの情報を交換し、成人期の先天性心疾患患者の存在を社会にアピールしたいと考えています。医師の立場からは、成人先天性心疾患について長年活躍されている千葉県循環器病センターの丹羽公一郎先生と心臓外科の第一人者である岡山大学心臓血管外科の佐野俊二先生に講演していただく予定です。また患者さんの代表として春名憲二さん、谷本直美さんからもメッセージを伝えていただくこととなっています。

<お問い合わせ>

赤木 禎治 (あかぎていじ)

岡山大学病院 循環器疾患治療部

電話 (086)235-7357 Fax (086)235-7683

E-mail: t-akagi@cc.okayama-u.ac.jp

吉川 綾子 (よしかわあやこ)

〒703-8261 岡山県岡山市海吉1 5 3 9 - 8

全国心臓病の子どもを守る会岡山県支部

電話、FAX 086-276-3381

E-mail: y-a-3my@ms10.megaegg.ne.jp